

# Reefプロジェクト



## DATA

### ●主な連携先・メンバー

高槻市立三箇牧小学校／大阪府立三島高等学校

### ●活動地域

在学キャンパスのある高槻市内の教育機関

### ●活動資金

なし

## 活動の目的

- 1 ICT(映像教材)を活用した授業の普及
- 2 生徒の学習内容の関心・理解の促進

## 連携にいたる経緯

「教育の情報化」政策の下、ICTの普及が進む中で、従来の授業の形式に映像というメディアに特化してICT普及を目指すことを目的として設立された。また、本年度は映像にARを組み込むことにより新たな授業展開を目指すことを目的として、高槻市内の府立高校と提携した。

## 活動内容

### (1) 高槻市立三箇牧小学校

小学校の授業における映像を用いた補助教材の制作・提供を行った。年度の前半は「私たちの高槻市」をもとに、高槻市の主要スポットの位置を分かりやすく紹介する動画を制作した。後半は「復興に取り組む政治」をもとに、阪神淡路大震災から復興を遂げた神戸の取り組みを紹介する動画を制作した。

### (2) 大阪府立三島高等学校

化学の授業における映像・ARを用いた授業教材・家庭学習教材の制作・提供・支援を行った。三島高校の先生よりARを用いた授業を行いたいとの依頼があり、問題文から解説動画が飛び出る家庭学習教材と、カードから出題映像が飛び出る授業内教材を制作した。



## 活動の成果

- 1 児童を惹きつける映像の提供  
映像において細かい部分の反省点はいくつか見受けられたが、メモを取りながら映像を見ている児童がいたことから惹きつける映像であったことが分かった
- 2 ARを用いた授業の補助と促進を図る  
生徒がゲーム感覚で順序を踏みながら復習ができたことや、動画であることから記憶に残りやすく楽しみながら授業を受けることができるといった高評価を得たことにより、ARを用いた授業の促進を図り、今後の活動の幅を広げることができた
- 3 ARに組み込む映像の提供により活動の幅を広げる  
協働相手の声: 大阪府立三島高等学校 化学科・情報科 神山達志先生  
「理科教育の専門家である教員の教案と生徒たちと同世代の大学生の感性がうまく組み合わせられて効果的な教材が完成しました。教材制作過程を含めてICTを活用した授業の新しい形を創りだすことができたと考えています。」

## ●教員紹介



総合情報学部 教授 黒上 晴夫(くろかみ はるお)

思考スキルを育てる方法、カリキュラムと授業のデザイン、ICT機器の有効利用などを研究の中心とし、ワークショップを通して学校の授業研究のアドバイスを行っている。

## 今後の課題・目標

- 1 メンバー内での日程調整を早めに行う
- 2 連携先教員との連絡をスムーズにするためフォーマットを作る
- 3 授業見学に行けるようにする